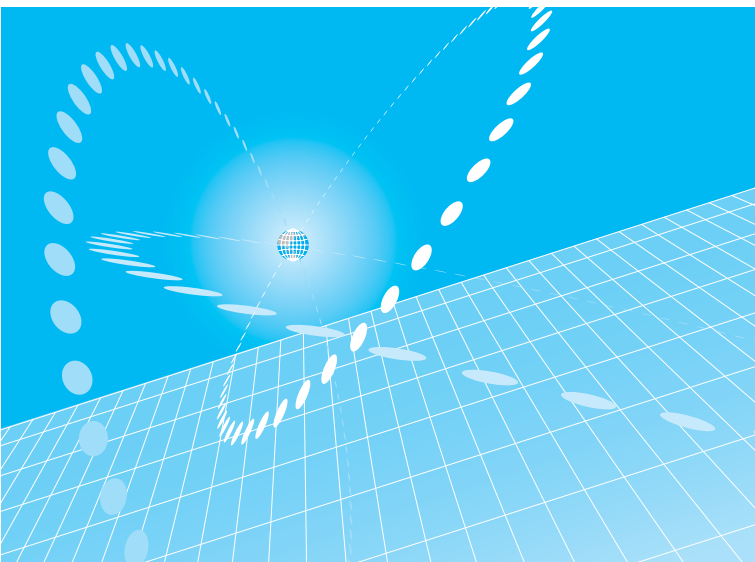


第50期

中間事業報告書

平成15年1月1日～平成15年6月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成15年6月30日をもちまして第50期の中間期を終了いたしましたので、ここに営業の概況につきましてご報告申し上げます。

(1) 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、公共投資は総じて低調に推移し、設備投資も回復力に欠け、所得・雇用環境の悪化による個人消費の伸び悩みなど、景気は依然として厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況の中、当社におきましては、新築ルートの開拓やOEM商品の拡販強化など新規販路の開拓に力を注ぐとともに、販売店の実需支援と住宅設備機器の総合メーカーとしての知名度アップを目的とした「暮らしの新商品フェスタ」や、販売店を対象とした技術講習会を各地で開催し、お客様に満足していただけるサービスの提供に努めてまいりました。さらにはガス会社を対象とした次世代給湯器、家庭用コージェネレーションシステムを3月より発売し、また、四国地区の拠点として、香川にショールームを兼ね備えた営業所を新築して営業拠点の充実を図るなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。

研究開発部門では、環境にやさしいCO₂自然冷媒給湯器「長府エコキュート」のフルオートタイプ、給湯専用タイプの開発、バリアフリー仕様に加え洗い場床の乾燥時間を短縮する「水切りフロア」を採用したシステムバス「ユメリア」RYシリーズ、温水床暖房と壁掛け型エアコンを一体化した温水床暖房付きヒートポンプ式エアコンなど、市場ニーズに対応した製品開発を行ってまいりました。

一方生産・購買部門におきましても、全社的な作業工程の見直しや、生産工数の低減、品質向上に努め、また、海外を含めた効率的な資材調達、システムバスの樹脂成型機SMCの導入、前工程生産管理システムの導入準備を進めるなど、原価低減の推進はもとより生産性の向上にも積極的に取り組んでまいりました。

製品別に見ますと、石油給湯機器は住宅着工件数の低迷など業界全体が厳しい状況にある中、下取りセールなどの拡販活動が効を奏し2.0%の増加となりました。空調機器につきましては、エアコンの国内における販売不振と価格低下が影響し7.0%の減少となりました。ガス

機器につきましては、積極的な拡販活動を行い数量面では昨年を上回る結果となりましたが、価格低下を補いきれず2.1%の減少となりました。浴室機器におきましては、システムバスの価格低下と単品浴槽の減少が影響し全体で2.4%の減少となりました。その他では、環境に優しく、省エネ性にすぐれたエコキュートが大幅に売上を伸ばした他、クリーンエネルギーとして期待される太陽光発電の売上増などもあり全体では16.4%の増加となりました。

この結果、売上高は193億93百万円（前年同期比2.3%増）となり、利益面につきましても、全社をあげてコスト削減に取り組んでまいりました結果、営業利益は19億30百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益は24億61百万円（前年同期比10.8%増）、中間純利益は13億13百万円（前年同期比7.8%増）といずれも前年同期を上回る結果となりました。

（2）通期の見通し

今後のわが国経済は、米国経済の先行きや為替、株価の動向など不透明な要因が多く、また、厳しい所得・雇用環境の中、個人消費の伸びも期待できず、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境の中当社といたしましては、引き続き「顧客満足の向上」と「市場クレームの撲滅」に努め、新築ルートの販路拡大や従来販路の拡充、各地での新商品フェスタや技術講習会の開催など、地域に密着したきめの細かい営業活動を展開してまいります。開発部門におきましても、高齢化社会や環境、省エネをテーマにした新製品の開発に取り組み、生産・購買部門におきましても、徹底したコストダウンを図るなど、全社をあげて経営全般の合理化と業績の向上に努力する所存であります。

通期の業績につきましては、売上高は400億円（前年比3.2%増）、経常利益は51億円（前年比3.8%増）、当期利益は28億円（前年比10.4%増）を見込んでおります。

株主の皆様には何卒、今後共一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年 8月

代表取締役
社 長 川上康男

貸借対照表

●平成15年6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	百万円 30,992	流 動 負 債	百万円 7,032
現金及び預金	16,380	支払手形	27
受取手形	468	買掛金	1,930
売掛金	3,900	未払金	122
有価証券	4,887	未払費用	722
製品	3,143	預り金	1,069
仕掛品	446	未払法人税等	863
原材料	565	賞与引当金	1,102
仮払消費税等	977	製品保証等引当金	2
繰延税金資産	149	仮受消費税等	1,124
その他の流動資産	78	その他の流動負債	67
貸倒引当金	△ 6		
固 定 資 産	71,817	固 定 負 債	884
有形固定資産	18,525	退職給付引当金	884
建物	3,754		
構築物	169	負 債 合 計	7,917
機械装置	2,063		
車輛運搬具	89	資 本 の 部	
工具器具備品	542	資 本 金	7,000
土地	11,906	資 本 剰 余 金	3,552
無形固定資産	49	資本準備金	3,552
投 資 等	53,242	利 益 剰 余 金	83,628
投資有価証券	49,159	利益準備金	753
子会社株式	100	任意積立金	79,512
長期預金	500	中間未処分利益	3,362
長期貸付金	606	(うち中間利益)	(1,313)
長期未収金	949	株 式 等 評 価 差 額 金	713
保険積立金	2,113	自 己 株 式	△ 2
保証金	129		
長期前払費用	20	資 本 合 計	94,891
繰延税金資産	615	負 債 及 び 資 本 合 計	102,809
貸倒引当金	△ 2		
海外投資損失引当金	△ 948		
資 産 合 計	102,809		

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 19,067百万円

損益計算書

●平成15年1月1日～平成15年6月30日

		百万円	百万円
経常	営業損益の部	営業収益 売上高	19,393
		営業費用 売上原価 販売費及び一般管理費	14,057 3,405
		営業利益	1,930
損益の部	営業外損益の部	営業外収益 受取利息 有価証券利息 受取配当金 仕入割引 その他の営業外収益	10 307 34 151 193
		営業外費用 支払利息 売上割引 その他の営業外費用	5 143 17
		経常利益	2,461
特別損益の部	特別利益 投資有価証券売却益 その他の特別利益	20 13	34
	特別損失 固定資産処分損 投資有価証券評価損	52 265	318
税引前中間利益			2,176
法人税、住民税及び事業税			940
法人税等調整額			△ 77
中間利益			1,313
前期繰越利益			3,623
自己株式消却額			1,575
中間未処分利益			3,362

会社の概況

(平成15年6月30日現在)

設立年月日	昭和29年7月1日
資本金	70億円
従業員数	1,178人
事業所	
本社	下関市長府扇町2番1号 〒752-8555 TEL (0832) 48-1111
宇都宮工場	宇都宮市清原工業団地30番 〒321-3231 TEL (028) 667-6111
滋賀工場	滋賀県野洲郡野洲町野洲1473番地1 〒520-2394 TEL (077) 588-4111
営業所	盛岡・仙台・大宮・東京・横浜・ 千葉・名古屋・金沢・大阪・香川・ 岡山・広島・福岡・沖縄

事業内容

- 石油給湯機器……石油給湯器、石油風呂釜
- 空調機器……ルームエアコン、ファンヒーター、
FF式温風暖房機、温水暖房システム
- ガス機器……ガス給湯器、ガス風呂釜
- 浴室機器……システムバス、メロウバス
- その他……太陽熱温水器、太陽光発電、システム
キッチン、ソーラー床下換気扇、
電気温水器、エコキュート

役員

代表取締役社長	役員	川上康男
代表取締役専務	役員	島田実
取締役	役員	小泉欽資
取締役	役員	早川誠一
取締役	役員	梶勇
常勤監査役	役員	堀真紀
監査役	役員	松重建治
監査役	役員	山元浩

(注)監査役 山元浩氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	毎年12月31日(年1回)
定時株主総会	毎年3月中
利益配当金受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年6月30日
株主名簿の閉鎖	①毎年1月1日から1月31日まで ②中間配当金を支払う場合その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定期間停止する
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	大阪府中央区高麗橋2丁目6番10号 (新高麗橋ビル) 日本証券代行株式会社大阪支店
同取次所	日本証券代行株式会社本・支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部 大阪証券取引所市場第1部
1単元の株式の数	100株(单元未満株式の買取請求は名義書換代理人がお取扱いします。)



株式会社

長府製作所